

『地方教育行政法の改定と教育ガバナンス—教育委員会制度のあり方と「共同統治」—』
合評会（拡大研究推進委員会）の報告

日 時：2015年7月5日（日）13:30～16:30

場 所：神戸大学発達科学部/A棟2階「大会議室」

テキスト：坪井由実・渡部昭男編／研究推進委員会企画（2015）『地方教育行政法の改定と
教育ガバナンス—教育委員会制度のあり方と「共同統治」—』三学出版、2300円＋税

趣 旨：出版物の合評を通して研究推進の次なる課題を探る。

司 会：研究推進委員会 大野裕己（兵庫教育大学）／川上泰彦（同）

次 第：

13:30～ 開会挨拶 坪井由実（愛知県立大学／第17期会長／編者代表）

資料：憲法・教育基本法下における「国民の学習権」（教育自治）の基本構造

13:40～ 基調報告 渡部昭男（神戸大学／第17期研究推進委員会委員長）

「総括 教育委員会制度のあり方と『共同統治』」

資料：有倉遼吉・天城勲編（1958）『教育関係法Ⅱ』日本評論新社、ほか

14:00～ 評者1：研究推進委員会外から 土屋基規（神戸大学名誉教授）

資料：合評にむけて／教育委員会に関する新旧二法対照表／教育委員会法による教育委員選挙の実施状況

ポイント：はじめに／1. 本書の性格と構成／2. 地方教育行政法2014年改定をどうみるか／3. 教育委員会制度をどう理解しているか／4. 「共同統治」論の意義と課題／5. 疑問と若干の課題の提示

14:30～ 評者2：研究推進委員会内から 山下晃一（神戸大学）

資料：教育委員会制度研究と教育行政学の方法論的課題

ポイント：1. 本書の意義～同時に発展させるべき作業課題でもある／2. 若干の論点提示～各稿に通底する思考の方法論・思惟の様式に着目して

15:00～ 休憩／15:15～ 意見交換／16:30 閉会挨拶

概 要：

研究推進委員、評者、会員、大学院生、教育委員会関係者などを含めて25名が集いました。短い時間でしたが、次なる研究課題に繋がる意見交換ができたと思います。ご参加の皆さん、有難うございました。

日本教育行政学会
第17期研究推進委員会